

# 質疑

## Q&A



# 平成29年度 決算審議

平成29年度の一般会計及び各特別会計、企業会計決算について、9月定例会議において審議を行いました。審議は町政全般にわたり、数多くの質疑がありました。その中から、いくつかをお知らせします。

## 母子健康包括支援センター その成果は

**問** 妊娠・出産・子育てのワンストップ、また、切れ目がないというフリーズで事業展開した成果は。  
**答** 従来の相談機能に加え、非常勤の助産師や保健師等が、週2回、各家を訪問して、随時相談するなど、これまで以上にかわることができた。専門の保健師が相談に乗る体制もできており、必要に応じて支援プランの作成も行うので、これまで以上に充実した相談体制であると考えている。



ママパパ教室

## 感震ブレイカー設置補助で 自治会加入促進は

**問** 自治会と協働して設置を進めたが、最近では地震が各地で多発している。より一層、強化を進めるための事業展開は。また、自治会未加入者への促進は。  
**答** 4年間で6,500台を目標に設定し、初年度は自治会加入者を対象に1,339台設置した。今後、自治会未加入者にもこれをきっかけに自治会に入って設置していただき、全体で減災を進めていきたい。



## 災害時の備蓄 現状は

**問** 町はアルファ米をどのくらい確保できているのか。  
**答** 本町では防災備蓄品の備蓄指針を定めており、想定避難者数の3日分の3割にあたる2万382食を備蓄する計画である。平成30年4月1日現在でアルファ米は、長期間保存できるものとして、1万550食を備蓄しており、計画的に増やしている。



もしものための備えは

## 本町の給食の実態 給食費の値上げは

**問** 給食費を値上げた自治体もあり、今後、値上げの可能性は。  
**答** 1か月程度、食料が調達できなかつたり、消費税が上がつたり、大変な時期があつたが、本町においては、栄養士の努力があり、見た目は若干さびしいという御意見もあつたが、カロリーをしっかりと確保し、乗り切ることができた。今後は消費税も上がった際に軽減税率などもふまえ、考えていきたい。

## 子どもたちの 給食に地元食材も

**問** 学校の食材の購入にあたって、ここ3年、地元業者から購入がない。なるべく地元食材も使っていたきたいが。  
**答** 基本的に業者の選定は、給食管理委員会が公平な目で、保護者も入った中で選考を行っている。町としてもなるべく



みんなで楽しく給食を

## 高齢化率が年々増加 地域支援包括センター事業の成果は

**問** 地域包括支援センター事業の成果は。  
**答** 要支援者が増えたり、相談件数も徐々に増えているが、地域包括支援センターや社協の事業は、少しずつ地域に定着してきていると評価している。今後もしも細かい



## 指定管理者導入1年目の成果は

**問** 瀬戸屋敷に指定管理者制度を導入し、管理を含め、事業が充実しているかと評価するが、成果をどのように分析しているのか。  
**答** 指定管理者から維持管理運営や自主事業の関係、10月にカフェがオープンしてからの収支等の

## 町を守る消防団員 人員確保は

**問** 町の消防団員が平成29年3月現在、10名欠員であり、協議会を立ち上げて、団員の獲得に向けて活動したことによる成果や課題は。  
**答** 協議会を立ち上げ、団員の確保を目指したが、昨年よりも減っている。その中でも、昨年は町の広報に載せ、幼稚園の夏祭り等で活動をした中では、消防団員が少なく感じた若い人たちが入団するケースもあり、今までは違う形で意識を持ち、入団した方もいる。少しずつ団員の確保を進めていきたいと考えている。



町を守る消防団員の確保を